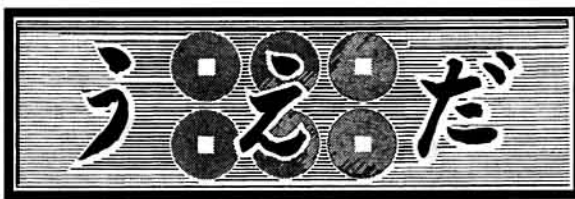


うだ



第60号

平成10年

(1998年)

12月12日

(土曜日)

=年2回発行=

=発行=
上田高等学校
関東同窓会

発行人/会長 壺 滋(50)
編集人/編集長 井上 剛(61)
事務局/幹事長 堀内忠久(53)方
〒263-0043 千葉市稲毛区
小仲台8-22-20-205
☎ & FAX 043(253)6365

上田高等学校関東同窓会・会報

題字は故稲垣征夫氏(14)



歴史の街に生きる

三人のOB

えだ
うだ

群参迎える 庶民信仰の メッカ

東京浅草浅草寺。雷門前の人だかりをかきぬけて境内に入ると仰見世通り。人の頭が、宝蔵門を経て観音堂へと続いている。日に数万人を迎えるこの寺の貫首が我等が同窓生、清水谷孝尚(36期)氏だ。氏は、全日本仏教会副会長でもあり、また「巡礼と御詠歌」、「僧坊折々の田舎の人が「よかつたねえ今日縁日」と喜ぶ。だがこれが日常。



歌」等の著書も持つ碩学。

こちらの町会で再建の計画を説明し、賛同を得なければならぬのだ。だから「自分も早く浅草の人間にならなければならぬ。長野県の方は忘れよ」と努めた。全国を回り一口百円の寄進を百万人集める百万人講もやった。こうして管財部長としての努力も報われた。観音堂が再建された。

その後雷門が松下幸之助氏、宝蔵門が大谷重工業社長大谷米太郎氏の寄進で再建された。松下氏は、観音様に帰依して病が治った縁によるが、門が完成した感謝の席上、自分がすぐに末席に移ってみんなにお酌をして回っていた。寄進をさせて貰ったことをむしろ感謝していたのだ。大谷氏は、鉄く

ずをトラックで運んで下さっている。その御厨子の裏には「上田中学三十六期物故者の菩提」と書かれている。36期にちなんで毎年3月6日に関東在住の同期生が集まって、物故者の法要を営んでいるという。



武石や上田二中の教師をしていたが縁あって上野寛永寺の東漸院へ。

開放してもらい、普通の檀家を抱える寺となった。不忍池も東京都に下賜されていたが、辨天堂は返してほしいと願い出て、今、池中の島とお堂だけが寛永寺のものとなつている。築土氏は辨天堂の輪番として毎日午前中ここでお経を上げ、土日は寛永寺の法要に出る。

別所の安楽寺に生まれ、双子の弟の孝康氏と共に上田中学に進んだ。弟はテニス、自分は応援団副団長をやった。宗門の大正大学に進学中学徒動員、トラック島で小隊長として参戦した。耳元の機関銃の発射音で、今も片耳は聞こえない。

復員して浅草寺善龍院に入ったが、当時浅草は焼け野が原、観音堂も焼け落ちていた。「何とかして再建を」が悲願であった。

かつて長野県の方は忘れようとした氏だが、今毎朝、小さな御厨子に納まった観音様に御経をあげ

「七軒町に行ってお布施を貰っておいで」貫首様に命じられて飛び出す。あち

「大きなことを成す人は、どこか拠り所になるものを持つていたように思いますね。」と氏は振り返る。

寛永寺にも我が同窓生

一方、寛永寺は徳川家に墓地を一般に開放してもらい、普通の檀家を抱える寺となった。不忍池も東京都に下賜されていたが、辨天堂は返してほしいと願い出て、今、池中の島とお堂だけが寛永寺のものとなつている。築土氏は辨天堂の輪番として毎日午前中ここでお経を上げ、土日は寛永寺の法要に出る。



今大河ドラマで放映中の徳川慶喜が大政奉還し謹慎したのが上野の寛永寺。その東漸院の住職が築土秀玄氏(46期)。不忍池中に建つ辨天堂の輪番も努める。

寛永寺は徳川家に墓地を一般に開放してもらい、普通の檀家を抱える寺となった。不忍池も東京都に下賜されていたが、辨天堂は返してほしいと願い出て、今、池中の島とお堂だけが寛永寺のものとなつている。築土氏は辨天堂の輪番として毎日午前中ここでお経を上げ、土日は寛永寺の法要に出る。



不忍池上の辨天堂

受験で他を犠牲にしないで知・徳・体のバランスをとってほしい。」

なお、寛永寺の見所は慶喜が謹慎していた部屋。予め申し込めば見られるそう。ただし、土日は法要があるので、平日にこのことである。

83歳で現役
アメ横の
歴史の証人

浅草・上野とくればもう一つの名所がアメ横町。事務局にこんな便りを頂いた。「東京上野のアメ横で、世界各国の外

蘇民将来の謎のソル

築土氏の生家信濃国分寺といえは1月8日が八日堂縁日。カーバイトの独特の光と匂いや雪を踏みしめる下駄の音とともに懐かしく思い出す人も多いだろう。そこで売られていた護符が「蘇民将来」。さてその由来は？

◆◆大昔、北海の牛頭天皇が南海の竜宮に在る姫を求めて旅に出た。途中夕暮れになり、巨匠という長者の家に宿を求めたが断られた。仕方なく蘇民将来という貧しい家に泊めてもらった。牛頭天皇は、「巨匠は金持ちなのに泊めてくれなかった。必ず罰して滅ぼしてやる」と言われた。巨匠の嫁は蘇民将来の娘だ。「何とかして娘だけは…」と命乞いした。天皇は「柳の木で札を作り、「蘇民将来の子孫」と書いて目印にしなさい」と言われた。

七日七夜のうちに巨匠の家の者はことごとく滅んだが娘だけは生き残ったという。



国食料品専門の卸と小売りを40年細々と経営しております。ただ長くやっているだけでタイシタことはありません。どうか上京の節はお立ち寄りください。お待ちしております。その折りは一寸一言上田中学卒業のことをお話ください、勉強させて貰いますから。小生、昭和8年の卒業で歳も83歳になりましたがまだ第一線で頑張っております。」

中臺秀松氏(32期)である。さっそく伺ってみた。十数年前アメ横町近代化の象徴としてアメ横センタービルが建てられ話題をよんだ。そのアメ横センタービルの1階に「ナカダイ商店」はあった。カラフルな外国製菓子和缶詰類が並んだ小さな店である。

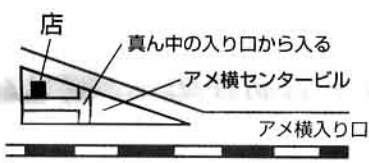
中臺氏は東大を出て検事となった父親の赴任先という縁で

上田中学に通った。法政大学を経て朝鮮銀行に。ソウルに2年行ったが応召して厚木へ。そこで終戦、マッカーサーがやってきた。米人の元、厚木基地に残るのがしゃくで担ぎ屋になった。「検事の息子が担ぎ屋とは！つかまったら勘当だ」と父に言われたが、当時ヤミでない物資などなかった。その物資を売る所がアメ横。やがて中臺氏はたまった金で店を買った。アメ横の名物商店主としてやってきたのだ。

今、店には、帝国ホテルでも使っているというシンガポール製のマンゴープ

リンをはじめ、ベルギー製の超厚板チョコ、ロシア製の蟹缶等が並んでいる。おすすめは、フランス製のクリームチーズだ。ほのかな香りとなめらかな舌触り。チーズケーキの材料としてもよい絶品。店は小さいがショーウィンドウのようなもの。卸には倉庫から出す。相談することが大切。

またこのセンタービルの地下には中華料理材料専門店、朝鮮料理材料専門店等もあるから、一度行ってみるとおもしろい。もちろんその時は我らが先輩に一言ご挨拶を！



会員ポ

あれれ？どこかで見たような…



県内では物議を醸したというが、今こうして広く採用されているところを見ると、やはりいいキャッチだったのだ。内実の伴わないネームバリューだけを笠に着て「オレは上田」というのは鼻持ちならないが、内心の誇りとして「至高」「至剛」をめざす精進の精神は、我々にとってかくありたい姿だと思う。(56期 小山莊司)

秋葉原駅等各駅の壁面にさわやか信州のキヤンペンポスターが貼られている。その一枚が上田。真ん中に大きく「ひとつ上田」と書かれ、「ロマンが上田、自然が上田、温泉

(小山氏は 本誌副編集長)

が上田と各論が続く。ここで「あれ？」と思うのが去年紹介された母校のパンフ。「出会い、笑顔、そして夢——上田。」とあった。

出会い、笑顔、そして夢



長野行新幹線で、わずか75分。すべてが、ひとつ上のまち。



51期

上田でCD-ROM制作

ふるさとのOB北条彰一氏

懐かしい上田丸子電鉄の昔の風景、又、産川の小泉小太郎の伝説などを、CD-ROM化している同窓生がいる。

の支援・育成に従事しておりましたので、やりがいのある職務です。また40年間留守をした故郷へのご恩返しのため励んでおります。

私は大学、仕事（大和銀行・大和銀総研）と関西を中心に暮らし、94年に40年ぶりに帰郷しました。丁度、上田市が21世紀を展望し、市民の教育・啓発と関連産業の集積を図るべく、「上田市マルチメディア情報センタ―」を設立することになり、所長を委嘱されました。私は関西での仕事の歴史をたどった「丸窓電車」、塩田平を環境的な特性、歴史をふまえて

現在までに、上田地域の歴史的な古い映像を中心に「未来への伝言」かつてあった電車の路線の歴史をたどった「丸窓電車」、塩田平を環境的な特性、歴史をふまえて

紹介した「塩田の里」の三つを制作しました。センターの大スクリーンでもご覧いただけますし、販売もしておりますので、センターにお出かけの折りは、ご遠慮なくお申し出ください。



グ ラ フ ィ ティ



第37回総会が7月11日如水会館において開かれた。母校から細川修校長先生、甲田・笠原本部同窓会副理事長らの来賓を迎え、参加者は212名。定例議事後、NHK前国際部副部長・現広報部副部長の春原秀一郎氏（68期）の講演が行われた。NHKのニュースが外国でどのような取材され、我々の視るところとなるのが、オランダの洪水や湾岸戦争などの氏の体験を元に語られ、興味深かった。総会の後は懇親会が開かれ、にぎやかで楽しい一時を過ごした。



↑新卒者も元気に参加

春原氏の講演→



←↑テーブルは各期毎に



女性の参加も増えている→



t

TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,
and excitements more wonderful and much greater.
“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

- Mr. Children
- MY LITTLE LOVER
- SPeed

- SOPHIA
- HI-STANDARD

株式会社トイズファクトリー
代表取締役 井出孝光 (第61期)

会員 短信

総会の出欠の八分に寄せられたコメント等会員の近況をご紹介します。今後も、近況、ご意見、ニュース等の投稿をお待ちしております。

◆墨痕鮮やかな田中氏の封筒



◆32期 田中 柳一

書道教師をしていま
す。80歳を越え下り坂
をつまづかないよう用
心深く歩いてるところ
です。提案はありま
せんが、若い方達大い
に頑張ってください。

◆32期 宮崎 光邦

会報を拝見するたび、
65年前を偲び白いゲ
ートルで軍事訓練を思
い出しています。訃報
で同期生の逝去に合掌
するのみです。

◆33期 弘世 弘信

運営基金創設に関与し
た者として、基金の堅
調な進展を喜んでいま
す。

◆35期 清水 彰

お陰様でほぼ健康状態
で、今年も横須賀市の

創設の頃（昭和30年代
前半）矢島五郎さん
（31期）などと中核で
努力されてきたことが
思い出されます。

◆40期 渡辺 守

はげむもよし、はげま
ざるもよし、自分に合
わせて今も剣道で遊ん
でいます。（74歳）

◆41期 金沢 光男

元気でやっています。
諸賢に会いたいのです
が、なかなか雑用が多
くて困っています。生
涯現役なんて言うのは
どうかかなと思っていま
す。

◆42期 栗田 裕夫

今年5月29日（株）セブ
ンイレブンジャパンを退
社しました。6月16日
に上田市民会館で行わ
れた長野県PTA大会
で県下のPTA会長、
高校の校長先生等に
「青少年育成と2、3
の提言」と題して講演
をしました。

◆42期 佐藤 成雄

余命幾許も無い年にな
りましたが、景気浮揚
に微力を尽くすために
自宅の建て替えを予定
しています。その間仮
住まいに待避、来年初
めに新居に入ります。

◆43期 山川 光雄

最近会報に掲載された
「上中ネービー列伝」を
読みました。中で同級
生だった長井利二君の
戦死の様子を知り、人
生の儚さを感じました。

◆43期 梅田 實

会報で知っている先
輩、同輩、後輩の名前
が載っているのは懐か
しい、59号では計8名
の名前を見つけて嬉し
かった。楽しい会報を
作る事務局ご苦労さま
です。

◆43期 小林 拓也

ゴミ問題の研究をして
います。なかなかどう
して奥深い！

◆43期 土屋 啓

昨年9月脳梗塞で倒れ
ましたが幸い回復、残
った左手麻痺のリハビリ
に通っています。日
常生活には支障ありま
せん。

◆44期 田中 悦次

今年3月末日三祐コン
サルタントを定年退職
しました。今年1月か
ら3月までエリトリア
の首都アスマラにOD
A給水関連の案件で滞
在、高度2千300mでの
生活を2ヵ月経験しま
した。

◆46期 北上 博

定住インドシナ難民の
定住後におけるアフタ
ーケアを主たる事業
とする外務省を主管と
する公益法人に平成2
年退官後勤務、既に8
年が経過しております。

◆46期 小西 幸男

今年3月、社賛会参
与の職を退き、4月か
ら桜美林大学の講師と
して英語を担当してい
ます。夏休みには長女
の嫁ぎ先であるロンド
ン郊外のクローリーで
過ごし、地域奉仕のた
め近隣の協会で奨励を
したり、ブライトン商
工会議所で講話をした
りして、日英親善に努
めました。

◆46期 水澤 博

人生劇場第三幕三年目
公演中。悠々自適とは
いかず晴遊雨眠の怠惰
なる日々を過ごしてい
ます。

◆46期 吉村 賢治

月1のゴルフ、週1の
水泳をスーツと続けて
います。仕事は程々に
して遊びに熱中してい
ます。旅行もカミさん
ともども年一回海外、
年一回は国内旅行と楽
しんでおります。

◆48期 桐山 博光

リタイアして4年
目、登山、旅行、ボラ
ンティアなど在职中よ
り多忙な日々を送って
います。

◆48期 西沢 昇

年金生活です。老人大
学の講師をしています
。小学校のクラブ活
動の子らに囲碁を教え
ています。倅夫婦、孫
と同居で元気に暮らし
ております。

◆48期 三浦 幸雄

狭山市立植物園併設の
緑の相談所で市民の相
談に応じています。土
曜日・日曜日は市民教
室の開催日のため私の
休みは月・火・金曜日
で6年目に入り、元気
よく少しは頼りにされ
ています。

◆50期 清水 正晴

（中世・異端のコスモ
ロジー）三部作を出版
したあと、現在はカサ
ノヴァの伝記を執筆中
です。

◆50期 傳田 勲郎

郷里の同級生矢島孝夫
さんに海野宿が表紙と
なった日建連会報98・
6号を送ったところ、
昭和21年入学1年間に
学した私を皆さんの仲
間に入るようにと推薦
頂きました。ご高配の
程宜しくお願ひします。

◆50期 沼田 淳

6月12日をもって働エ
フ・アール・シー社長
を退任し、顧問になり
ました。これからは自
分の時間を大切に過ご
していきたいと思つて
います。

◆50期 渡辺 一雄

昨年9月ジャパンエナ

ジー総合研究所を退職。現在無職、団地管理組合役員として意外と多忙な日を送っています。孫男一人のみ。

◆51期 浅野井 哲
5月末に(株)学研トイホビーの監査役を退任しました。今後は(財)日本万歩クラブ評議員・リーダーとして自然のフィールドの中で活躍していきます。

◆51期 小胎 治雄
税理事務所を台東区根岸2-11-6石巻ビル1階に移転しました。

TEL&FAX:
03-3872-7655

◆51期 掛川 國雄
第二の人生をコーキ封筒(株)でイキイキやっています。同窓会は楽しい雰囲気が必要、ともすると真面目人間の集団になりがちなので、例えば次回はノータイ・ラフスタイルが条件などとしたら?

◆51期 水沢 清
三年前にキックコマン(株)を定年退職し、現在は気儘な毎日を送っています。

◆51期 八木 浩輔
本年3月をもって、筑波大学副学長を退官、36年間の文部教官に区切りをつけ4月1日より

浦和短期大学教授、同図書・情報センター長として勤務しております。英国ケンブリッジ大学から教科書執筆を依頼され、70才定年退職まで忙しそうです。

◆52期 掛川十次郎
今年4月に退職し、造形美術の勉強を始めました。今までの仕事と関係のない違った面での可能性を求めていくというつもりです。

◆52期 児島 芳次
日本IBMを退社し、昨年からは千葉経済大学教授、関東学院大学講師をしています。

◆52期 清水 忠治
退職後、「清水技術士事務所」を開設、繊維部門、特に不織布分野のコンサルティングをしています。中国の工場も育ち、先月は最大手デユボン社不織布の工場(TNK州)を訪ねました。

◆52期 山岸 徳己
定年後の嘱託員も最後の年を迎え頑張っています。

◆53期 樋川 光彦
昨年3月公務員を定年退職し、週に1、2日

千葉地方裁判所で調停委員として勤務するほかは悠々自適の毎日です。

◆53期 増田 隅雄
ダイアパレスのダイア建設(株)でエグゼクティブ・スタッフとして活動しています。これからマンションを購入したいという方はご一報下さい。喜んでいただける物件をご紹介します。

◆53期 渡辺 百枝
嘱託として2年目の勤務に入りました。時間にゆとりが出来ましたので読書をしたり、休日には仲間と山登りを楽しんでいきます。

◆54期 有賀 俊夫
会報「うえだ」ご送付有り難うございました。野球班出身が大学で活躍しているのは先輩としても大変嬉しく、又張り合いも出ます。

◆54期 黒川 次郎
昨年8月NHK顧問を退任、(財)NHK放送研修センターの理事長に就任しました。

◆54期 櫻井 敬
還暦を期に新宿の事務所は他人に貸し自分は国分寺の自宅の方に移転しました。今後は業務の傍ら晴耕雨読の生活を望んでいます。

◆54期 真道 茂
長年住み慣れた東京を離れ、故郷にアトリエを新築し、転居しました。(別掲)

◆54期 中村 一彦
今年1月定年退職、毎日が日曜日といった生活をしていきます。

◆54期 古見喜八郎
漸く仕事から解放、これからが人生と、いろいろ考えています。

◆55期 大井 鑽二
長い間お世話になりました。今年定年になり、佐久市へ転居しました。(別掲)益々の関東同窓会のご発展をお祈り申し上げます。

◆56期 笹沢 政道
9月より(株)富士銀マーケティングサービスに勤務することになりました。電話は029-552-5252です。

◆56期 松瀬 勝雄
同窓会報有り難うございました。信州の雰囲気、母校の感じを思い出しました。

◆57期 高木 佳年
5月1日より(株)住友シテックス尼崎勤務となりました。約3年間の米国勤務から日本に戻りましたが残念ながら関西の社宅住まいとな

りました。関西での本格的な生活は初めてです。女房ともども楽しんでいきます。

◆57期 高山三千夫
三年近く長野オリンピックの現場で勤務し、再び東京勤務になりました。

◆58期 小林 和民
千葉港を中心に港湾内の海上防災事業をしています。昭和40年以來30余年過ぎ千葉県人となりました。

◆62期 岩井 重一
厳しい経済不況の中、倒産事件や債権回収事件、そして家庭での離婚事件も増え日々法律的な紛争解決のため、忙しく飛び廻っております。

◆64期 島田 彰男
ここ数年67会(むじな会・64期7組同級会)を1泊で開催しています。昨年11月には横浜港を会場に滝沢先生他20名が参加し旧交を温めました。

◆69期 吉村 邦彦
都内に居住・勤務しておりながら同窓会になかなか出席できないのであります。呼吸器内科診療と併行して遺伝子治療などの先端医療に取り組んでいます。

◆71期 久保田則夫
日本道路(株)より出向で(株)アルトン設計の社長に就任しました。建設設計、ランドスケープ、スポーツレジャーの設計を行っております。

◆71期 小林 清隆
母校の甲子園出場を願う季節になりました。また後輩が東京地区の大学野球部で活躍している様子秋のリーグ戦が始まったら神宮の杜に出かけて応援したいと思っています。

◆77期 山本 直人
勤務で東京に来て1年になりますが上田が懐かしく思います。たまに出張で上田に行った時は必ず上田高校の前を通ってみるようになります。

◆78期 小林 和幸
本年4月に宮内庁書陵部主任研究官を辞し、駒澤大学文学部歴史学科に勤務することとなりました。日本近代史の講義を担当しております。

◆80期 小林 章
今冬行われた長野オリンピックにボランティアとして参加しました。

◆82期 竹内 延彦
高校卒業13年目にして初めて参加します。不

登校、登校拒否、高校中退などの教育問題に係わる相談をお受けする仕事をしています。

◆86期 富田比呂美
会報が届くのをいつも楽しみにしています。これからも宜しくお願ひします。

◆96期 青木 康史
大学に入ってあつという間に3カ月になろうとしています。大学にも慣れ始め仲間も出来て楽しい生活を送っています。勉学の方も専門的な分野を学び始めます。自分のやりたいものに将来なれるように頑張っていきたいと思っています。

◆96期 早川 裕之
筑波大学の野球部に入部しました。新人戦のベンチには入れるかも知れません。

◆96期 林 啓太
高校の時文通していた長澤和俊先生の紹介で夢の早大シルクロード調査隊の一員となり来年の夏には新疆のトルファンで発掘調査のお手伝いが出来そうになりました。はるか西域の地で松尾魂をもって頑張っていこうと思います。

四十七期生の集い

大学教授が八人もいると文芸春秋の名物グラビア「同級生交歓」で紹介されたこともある47期が10月27日に集いを持った。今年の幹事は井出周利氏。寺院建築の大家で、最近建長寺の山門や庫裏を設計した。多士済々の集いであった。常任幹事の三井芳郎氏（ワシントンポストの日本に於ける広告代表、株エムアイの代表取締役。エムエムアイ会長は同期の加藤文郎氏）にレポートをお願いした。



和気 誦々

私達は昭和18年に入学し23年に卒業しました。戦中戦後の苦難に満ちた時代でありましたが友達に会えば又懐かしく、時間の過ぎるのも忘れて和気藹々の内に話はずみましました。又、50年前をかえりみると大きな悲しみもあります。今年の10月15日、上田市浄栄寺に55名が集まり、47期物故者の追悼法要が行われました。47期生25名の内65名の友が亡くなって居られご冥福を祈りました。更に在京の同期生で今年お亡くなりになった方は、詩人の渋谷孝輔君、児童文学者の大川悦生君、教育者の羽柴伸一君の三名です。このような優秀な学友が亡くなられたことは誠に残念でなりません。心からご冥福をお祈りいたします。(三井)

(表示変更等を含みます)

住所 変更

- 41期 柳沢富雄 大田区大森東4-35-4-101 ☎03-3763-2798
- 48期 宮沢英人 群馬県多野郡吉井町南陽台3-9-8 ☎027-388-3762
- 49期 渡辺侃治 千葉市花見川区こてはし台6-38-6 ☎043-250-1086
- 52期 田中芳夫 江東区東陽1-28-6-502 ☎3640-3169
- 52期 山岸徳己 日野市南平5-17-22 ☎042-594-3562
- 52期 吉沢正人 狛江市和泉本町1-6-15 ☎03-3480-6611
- 54期 真道 茂 諏訪市大和3-14-5 ☎0266-52-2903
- 54期 宮島 博 横浜市栄区小山台2-40-26 ☎045-893-3432
- 54期 柳沢 明 越谷市東大沢3-13-10 ☎0439-76-7496
- 55期 大井鐵二 佐久市大字大田部240 ☎0267-62-3594
- 55期 菅野 昇 金沢市増泉2-21-25-702 ☎076-280-3165
- 56期 関本五月 大宮市植竹町1-362-4-304 ☎048-661-2133
- 57期 高木佳年 神戸市北区広陵町2-29-10 ☎078-581-6505
- 58期 清水博一 横浜市磯子区東町19-10-311
- 59期 手塚博幸 国立市東4-23-34 ☎042-580-6290
- 63期 滝沢鉄夫 松戸市新松戸南2-25新松戸ユーカリハウスC-504 ☎047-346-4312
- 63期 藤川 昇 新宿区上落合1-23-2 ☎03-5389-0832
- 65期 倉沢よりえ 川口市栄町2-2-10-1004 ☎048-257-5657
- 65期 手塚幸次 埼玉県大里郡妻沼町妻沼東4-88-2 ☎0485-88-9155
- 65期 中沢 等 長野県埴科郡坂城町坂城10293-1 ☎0268-82-4459
- 66期 田中 茂 大田区南馬込4-12-5 ☎03-3777-1653
- 69期 土屋文男 世田谷区世田谷4-5-8-801 ☎03-3706-4660
- 69期 古畑克己 千葉県印旛郡白井町清水口3-37-3 ☎0474-92-1381
- 70期 渋谷 稔 渋谷区神宮前4-22-11 ☎03-3423-1624
- 70期 宮崎洋明 横浜市青葉区柿ノ木台12-54 ☎045-972-7233
- 71期 小林清隆 江東区北砂4-3-5 ☎03-3645-6015
- 71期 高木 繁 川口市南町1-13-25-602 ☎048-251-0896
- 73期 河野嘉子 川越市稲荷町3-9 ☎0492-42-4175
- 73期 小宮山浩 柏市南増尾5-18-12 ☎0471-73-5457
- 73期 林 則道 吹田市五月が丘東7-8-801 ☎06-389-6979
- 75期 大日向一成 練馬区光が丘3-9-1-804 ☎03-5997-7352
- 75期 小林正宏 川崎市多摩区中野島4-16-7-502 ☎044-932-3276
- 75期 渡辺千春 船橋市松が丘2-5-4 ☎0474-61-4136
- 76期 伊藤和弘 練馬区関町北5-15-30-201 ☎03-3928-0590
- 76期 小林忠利 横浜市都筑区中川5-9-6-106 ☎045-913-7385
- 78期 小林和幸 川崎市宮前区有馬1-21-1-111 ☎044-856-5303
- 78期 一杉(宮島)恵理子 茨城県北相馬郡藤代町柗木419-5 ☎0297-83-3504
- 80期 岡 成樹 上田市上田原1107-17 ☎0268-21-1800
- 80期 勝山純一 川崎市宮前区東有馬4-11-10コンフォール鷺沼309 ☎044-853-4091
- 80期 小林敬昌 練馬区中村南2-26-5-3060 ☎03-3999-7057
- 80期 小宮千佳子 日野市旭が丘4-7-5シティハイツ3-310 ☎042-587-2284
- 80期 清水岳志 武蔵野市西久保3-24-5-306 ☎0422-53-2055
- 81期 落合深雪 町田市野津田町1893-2 ☎0427-35-1828
- 81期 宮下 博 世田谷区玉堤1-15-27 ☎03-5706-8706
- 81期 八尋岳美 習志野市袖ヶ浦11-29-1-415 ☎0474-54-6937
- 82期 小林俊明 函館市山の手2-28-2 リージョストマンション山の手103号室 ☎0138-55-0516
- 82期 中村良子 2709 Lincoln Way Apt. B-104 Anees, IA 50014 U. S. A ☎515-292-9598
- 84期 飯島有希子 松本市寿豊丘1324ジョイフルタウンA202 ☎0263-86-3083
- 86期 斉藤 敦 上田市中之条9-1サープラスT203 ☎0268-21-403
- ◆新加入
- 50期 傳田勲郎 練馬区羽根沢1-11-7 ☎03-3557-8535
- ◆退会
- 51期 岩下裕至 今年10月にコスタリカのサンノゼに移住しますので退会いたします。

訃報 ご冥福をお祈り致します

市村 譽虎氏 (20) 平成8年10月16日	高木 勝繁氏 (34) 平成7年10月21日	吉田 和之氏 (45) 平成5年1月15日
大森 頼雄氏 (23) 平成10年6月14日	高橋 五六氏 (34) 平成10年2月25日	大川 悦生氏 (47) 平成10年3月27日
三谷 毅氏 (27) 平成9年3月	堀内 功氏 (35) 平成10年4月18日	北沢 和範氏 (47) 平成9年4月29日
柳沢 茂氏 (27) 平成10年1月17日	深井安児夫氏 (36) 平成10年3月2日	羽柴 伸一氏 (47) 平成10年9月21日
佐藤 茂氏 (30) 平成10年1月13日	川勝 顕一氏 (37)	柳沢 健氏 (48) 平成10年5月29日
田口 眞六氏 (30) 平成10年4月20日	志津田瑞穂氏 (39) 平成10年5月12日	竹村 乙彦氏 (50)
矢島 五郎氏 (31) 平成10年10月20日	矢島 良衛氏 (39) 平成9年3月13日	山辺 俊二氏 (54) 平成10年5月12日
荻野 右中氏 (32) 平成9年2月6日	齊藤 義臣氏 (41) 平成10年2月2日	湯本 義男氏 (54) 平成10年6月3日
水科 正氏 (32) 平成8年12月22日	両沢 卓蔵氏 (43) 平成8年9月25日	高藤 富雄氏 (56) 平成9年4月21日
	富岡 輝一氏 (45) 平成10年2月22日	皆瀬 恒幸氏 (78) 平成9年9月20日

◆**会員名簿の整備について**◆ 関東同窓会名簿を発刊してから早くも8年が過ぎその間に郵便番号の7桁化、市町村合併等により住所表示も大分変わりました。パソコン化を機に名簿を整備したいと思います。同封の用紙に必要事項を記入の上ご返送ください。なお名簿の流出等については細心の注意を払って行きますのでご安心ください。

◆平成10年4月1日～平成10年10月31日までの納入者です。◆氏名の後の数字は、複数年の会費を平成何年まで納入されているかを示しています。◆お問い合わせは、事務局屋内まで (☎043-253-6365)

◆年会費 & 運営基金 納入者氏名

3 2期 宮本 武 13	中村義夫 11	山岸光臣 12	六川 二郎 13	5 4期 神津 進 15	倉島今朝徳 13	宮宮英紀 21	6 9期					
土屋 勉 10	山川光雄 10	花村義男 13	渡辺侃治 16	三井 明 10	有賀俊雄 11	小山莊司 12	小林和民 10	10 麦島和子 12	柴田幹雄 10			
3 3期 横山誠之助 13	馬場善一 10	銭沢末治 10	5 2期 青木 功 20	石原澄江 12	藤原純夫 11	長園辰雄 12	柴田哲男 11	6 2期 関 祥行 13	吉村邦彦 13			
土屋利一 11	渡辺忠良 10	丸山栄一 21	5 0期 青柳位紗男 16	市河富弘 16	竹内 仁 11	沢田紀男 11	寺島徳子 10	滝沢 淳 10	7 0期			
3 4期 神田精夫 19	梅田 實 12	山崎繁廣 11	石井敬二 9	飯塚和男 18	香掛文哉 10	小市則夫 9	長崎哲夫 11	芳賀睦道 11	松井由美 15	丸山清光 7		
滝沢元助 10	小林朝衛 14	4 8期 井尻安昭 10	土原佳和 8	小市則夫 11	成田邦一 11	成田邦一 11	成田邦一 11	成田邦一 11	成田邦一 11	成田邦一 11		
土屋信夫 20	田中重樹 11	相田俊一 10	井出藤寿 12	掛川正司 14	小堺 雄 11	成田邦一 11	成田邦一 11	成田邦一 11	成田邦一 11	成田邦一 11		
眞峰秀雄 10	平林 直 12	甘利尚人 12	上原健一 12	片山浩之 12	滋野 三樹 12	新沼惇雄 12	久嶋瑞夫 12	6 3期 飯島正文 10	小林清隆 11	高木 繁 10		
3 5期 向山光男 11	白田誠人 12	大塚文芳 9	川嶋 慎 16	春原 矯 8	西島幹夫 8	5 9期 田中嘉親 12	松井廣通 14	石塚洋一 13	保塚野 10	7 2期		
大井卓雄 18	4 4-5期 浦田光雄 14	尾和堅一 11	北沢 功 10	田中嘉親 12	千村一平 13	三井宣夫 14	植葉 茂 10	美智子 10	久田夏子 11	7 1期		
3 6期 内海辰三 12	小本曾誠 10	金井昭夫 10	古平伸吾 21	千村一平 13	三井宣夫 14	宮坂 卓 12	清水 和 12	6 4期 有賀 猛 7	関 博明 10	田中 誠 12		
董沢嘉雄 10	久保田昭寿 13	小林芳彦 11	久保長行 10	小山克志 22	橋田ちせ 16	安田 明 16	清水紀男 10	竹田勝利 11	石井則男 10	田中 誠 12		
3 7期 新井邦夫 15	古平照雄 15	清水貞吉 11	小林祐二 13	須藤尚彦 11	馬場武彦 11	山浦敏照 10	吉池鴻允 10	手塚博幸 12	小宮山孝 10	西田光男 11		
内田重喜 13	小林重夫 10	下村正雄 12	小山治弥 6	瀬川直佑 11	浜村希志夫 10	吉池鴻允 10	渡辺善国 10	丸山 恒 10	5 7期 宮内裕夫 8	飯島辰夫 10	6 0期	
大塚次郎 10	小山厚三郎 11	高柳英治 11	清水章男 14	滝沢泰道 10	滝沢 格 12	丸山 恒 10	宮崎武男 16	岡川章夫 14	青柳啓行 12	野田将弘 11	小宮山弘 10	
岡 清助 12	武井国憲 15	高柳直樹 12	瀬田 登 10	滝沢 格 12	藤井清彦 12	宮内裕夫 8	飯島辰夫 10	6 0期 青柳啓行 12	野田将弘 11	小宮山弘 10		
清水志郎 12	田中悦次 10	竹内惠三 11	塚田 満 25	藤井清彦 12	宮内裕夫 8	飯島辰夫 10	6 0期 青柳啓行 12	野田将弘 11	小宮山弘 10			
永末末吉 14	手塚敬一 11	竹花源内 11	傳田勲郎 12	富永 肇 11	吉沢正人 10	柳沢 明 9	横沢武典 15	欣二郎 10	久保新一 11	小林恒雄 10	小林比呂志 10	
根津 勇 5	永井 巖 17	中沢清男 17	富永 肇 11	吉沢正人 10	柳沢 明 9	横沢武典 15	欣二郎 10	久保新一 11	小林恒雄 10	小林比呂志 10		
3 8期 荒木広之 16	4 4-4期 金子 健 19	松本守弘 11	花岡 巖 19	浅野井恭 14	秋葉光廣 13	荒井恒雄 11	小林恒雄 10	杉原弘一 13	杉原弘一 13	杉原弘一 13		
清水幾男 11	高橋昭平 14	宮沢武夫 15	平林 浩 12	安土忠房 12	伊藤典久 11	伊藤典久 11	杉原弘一 13	杉原弘一 13	杉原弘一 13	杉原弘一 13		
田中康夫 15	宮沢英人 10	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19		
宮原 敦 9	滝沢源平 20	山崎延秋 10	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19	堀内陽造 19		
3 9期 小本曾学 10	手塚栄三郎 10	山本輝彦 11	山田秀昭 9	加々井悦郎 10	片岡恒夫 10	片岡恒夫 10	片岡恒夫 10	片岡恒夫 10	片岡恒夫 10	片岡恒夫 10		
菊地 博 20	所 昭三 12	依田好永 8	5 1期 荒井一男 11	小林乾泰 11	須田武久 10	須田武久 10	須田武久 10	須田武久 10	須田武久 10	須田武久 10		
長藤 勝 12	星野賢造 12	4 9期 堀内茂雄 10	大石和夫 11	飯島英美 15	飯島 寿 11	井出英三郎 11	塚田 靖 18	樋口宣明 10	箱山 雅 25	前田尚武 10	高寺好一 10	
4 0期 小柳郷司 11	山極栄司 11	岡田暉夫 15	飯島英美 15	飯島 寿 11	井出英三郎 11	塚田 靖 18	樋口宣明 10	箱山 雅 25	前田尚武 10	高寺好一 10		
吉田節生 13	4 5期 森 茂 18	風間 光 10	加藤 毅 10	岩下裕至 11	中沢 哲 11	堀内良幸 12	堀内良幸 12	堀内良幸 12	堀内良幸 12	堀内良幸 12		
吉田光輝 14	山邊 力 11	唐沢昭雄 14	上原 昂 10	内久根孝一 10	半田義昭 14	池田安直 11	池田安直 11	池田安直 11	池田安直 11	池田安直 11		
渡辺久男 16	春日敦美 9	佐藤 信 15	清水茂雄 11	竹重信幸 10	倉沢直哉 19	保屋野悦男 12	岩下 宏 14	山崎紀典 13	渡辺静雄 11	笠井徳爾 14	松崎秀樹 10	
4 1期 飯塚哲夫 9	川尻悦三 15	甲田 睿 16	吉村賢治 13	田中信二 10	田村和男 10	清水 順 14	清水英明 10	武井 厚 10	田村忠男 10	山岸善雄 12	河西邦彦 14	野野富雄 8
川尻悦三 15	中川雄次 15	龍岡 櫻 10	見玉和人 10	齊藤慶彦 10	堀内 福 15	内海章緒 15	渡辺孝幸 10	小山 満 12	山下一雄 10	長谷川剛 10	7 9期	
高橋一行 7	4 7期 飯田久夫 17	上原 正 10	武井 厚 10	田村忠男 10	山岸善雄 12	河西邦彦 14	野野富雄 8	渡辺静雄 11	笠井徳爾 14	松崎秀樹 10		
柳沢富雄 7	4 2期 金子保夫 7	香掛元紙 15	水島啓二 8	武井 厚 10	田村忠男 10	山岸善雄 12	河西邦彦 14	野野富雄 8	渡辺静雄 11	笠井徳爾 14		
4 2期 田村滋雅 11	小山邦明 12	花岡 潔 12	藤原 実 8	保坂利勝 11	村田 寛 12	山本農夫彦 10	金沢正人 10	鎌原昭治 12	細萱英久 11	上屋耕太郎 12	渡辺俊輔 10	
橋本英典 20	笹井 博 27	堀内寅次 10	町田健一 11	横島善之 15	渡辺百枝 12	久保田修 10	久保田修 10	久保田修 10	久保田修 10	久保田修 10		
丸山仁志 10	佐藤 喬 22	堀内寅次 10	町田健一 11	横島善之 15	渡辺百枝 12	久保田修 10	久保田修 10	久保田修 10	久保田修 10	久保田修 10		
宮坂民樹 10	佐藤 喬 22	堀内寅次 10	町田健一 11	横島善之 15	渡辺百枝 12	久保田修 10	久保田修 10	久保田修 10	久保田修 10	久保田修 10		

◆**運営基金 拠出者** (平成10年4月～10月の方 拠出額は1口1万円) 27期(故)柳沢茂 33期弘世弘信 47期片山治夫 50期傳田勲郎 51期小胎治雄 51期齊藤慶彦 53期渡辺百枝 54期田中嘉親(2口) 55期大井鐵二 56期三井宣夫 58期小林慶三 59期小林義典 61期麦島和子 70期伊藤彰紀 72期田中誠 計16万円 基金元金合計775万円



上田高校に転入

藤田格(62期)氏よりリレー 山崎秀夫(51期)

私が生まれた上水内郡信州新町には犀峽高校があり、当時学区制度によって地元の高校に入学しなければならなかった。中学の同級生で早くから長野市に寄留して長野市の高校に入学した者もいたが、私は高校はどこであっても、自分が勉強すればよいと思って犀峽高校に入学した。しかし、もっと高い(?)高校に行きたいとの思いは募るばかり…。

転校するには居住地を移さなければならないということで、埴科郡中之条の親戚に養子縁組をして山崎から中島姓に

なりました。

上田高校を受験して、面接の時にどこから来たのかと聞かれ、サイキョウ高校ですと答えたら、京都から来たのかと言われ、ガックリしました。運よく転入できたのですが、離れていたために母の臨終に駆けつけたが声を交わすことができなかったり、3年の11月には家が全焼し、学校に行けなくなったりと悲しいことも起こりました。しかし、卒業はさせてもらいました。坂城駅から列車で通った日々が懐かしく思い出されます。大学に入って、中島から山崎に戻りました。

山崎氏は、山忠わさび株式会社。全国粉わさび公正取引協議会委員長。会社は埼玉県上尾市にあり、昨年と今年わさび特集がNHK総合テレビで放映された。ご希望の方にはビデオを進呈してください。上尾市大字平方453-1 ☎048-725-1036

母 校 便 り

えっ、ニホンオオカミが母校に？

母校の先生方が昨年11月、石川県七尾高校に視察に行かれた。七尾高校には全国的に珍しい日本狼の標本があって、そこには、上田高校にある標本の写真も丁寧に保存されていたようだ。

「えっ、母校に日本狼の標本が？」本誌の会報フォーラムで話題にしたが知る人はいなかった。そこで母校の山辺哲夫先生に調べていただいた。標本は日本狼の頭骨で、生物科にあった。

昭和14年1月殿城村の矢沢の石井、渡辺平治氏の母の兄殿からの寄贈(原文のまま)とあるようだ。寄贈された年より60余年前、前鳥帽子岳にて捕獲されたものというから、明治11年の捕獲ということになる。昔は狼の骨をお守り的に残しておく家もあったという。



筆者(本誌編集長井上)の出身地南佐久郡南相木村では今、トウモロコシや大根が狸や鹿に食べられて困っているようだ。そういう山村では、狼は獣害から農民を守ってくれる文字どおり守り神だったのである。(秩父三峯神社の眷属神は狼である)安産や家内安全の祈りもこめて。

しかし、日本狼は絶滅してしまった。日本狼の頭骨は大変貴重なもので、長野県でも数例あるだけ。しかも上下そろった頭骨は珍し



七尾高校の剥製標本

いそうだ。「臼歯が横に長いのが特徴。犬は長くない。大きさは犬やヤマイヌと比べて大きくはない」というのが、生物科の佐久間茂先生の見立てである。

山岸さん(定時制4年)優秀賞に

高校定時制通信制生徒生活体験発表大会で山岸周作さん(真田町出身)が東信地区で最優秀賞、県大会でも優秀賞に輝いた。山岸さんは病気がちだったこともあり、中学2年の後半からほとんど登校できなかった。上田高校に進学後、全日制の生徒と共に将棋を指すようになった。



「体が弱く満足に学校へ行けなかった私が、学校へ通えるだけでなく、将棋を指すことができる。それは私にとって大きな喜びだったし、それができたことにより他にもできる何かがあるはずだと思うようになった。2年生の12月、ついにその何かが見つかった。それは副生徒会長への就任である」山岸さんは活動を続け、4年で生徒会長に立候補した。(1)生徒による生徒会、(2)ボランティア活動を通じ上田高校定時制を広く一般にアピールする、が公約だった。松尾祭に向けては新たな試みとして松尾祭通信を発行した。夏休みには担任の先生と障害者施設に行つて廃油から石鹸を作る等の活動をした。こうして上田高校での4年間は多くのことにチャレンジした4年間となった。「その結果いくつかの自分を発見することができた。それは決して自分一人の力ではない、多くの方々の支えがあったからできた。来年の今頃どこで何をしているか…。たとえ、どこにしようともチャレンジを続け、新たな自分を見つけようとしているに違いない」と山岸さん。母校が大切なものを見つける青春の場であり続けていることを我らは嬉しく思う。

事務局日誌

- 4/6 幹事会兼会報フォーラム27名
- 5/23 東信同窓連総会
- 5/29 第37回総会実行委員会(第1回)22名
- 6/17 第37回総会実行委員会(第2回)20名
- 7/ 7 同窓会長野支部七夕会出席1名
- 7/11 第37回総会出席総数228名
- 7/24 第37回総会反省会19名
- 9/ 8 執行部会8名
- 9/12 本部総会出席4名
- 9/20 関西同窓会出席2名
- 10/13 幹事会兼会報フォーラム

●会報を応援しています●

全ての版式の印刷機を設計、製作する国内では唯一の特殊印刷機メーカー。



日本文化精工株式会社

TEL 03-3711-5741

代表取締役 清水 和(59期)

〒152-0003 目黒区碑文谷2-10-27

矢島五郎氏追悼特集



在りし日の矢島五郎氏

矢島元会長を 悼んで

会長 壘 滋

このたび矢島五郎先輩の訃報に接し、会員を代表して謹んで哀悼の意を表したいと存じます。矢島先輩は、いうまでもなく関東同窓会の歴史の上に抜きん出た功労があり、またそのお人柄からも広く会員の皆様に敬愛されてまいりました。

矢島五郎相談役(31期・85才)が、十月二十日肺炎のため逝去されました。矢島相談役は本会の草創期から会務に携われ持ち前の明るさと毒舌とも言える独特の語り口調と行動力で同窓会を指導され、今日の同窓会の基礎を築かれました。ある大先輩に「矢島から同窓会をとつたら何が残るんだ…」と言わしめるほど情熱をもって誠心誠意会の発展に尽くされました。ここに追悼特集を組み、合わせて会の歩みを振り返ってみます。

っておりましたが、まことに残念でなりません。いま元気なお顔とざつくばらんな上田弁がほうふつと甦ります。

ご指導をいただいた関東同窓会も、皆様のご協力を得て発展を続けております。これからも御遺志を生かし、関係者一同一層努力してまいりますことをお誓いしてお悔やみの言葉と致します。

この人なり

36期 神野 勝男
(第八代会長)

昭和七年の夏休み、上田市営競技場、西瓜二つぶら下げ、32期の瀧澤正夫さん(当時早稲田大の陸上部)お供に、小振りの先輩が、われわれの練習を見舞

いに来てくれた。「オイ、お前何年生だ?」「ハイ、一年生です」これが矢島五郎先輩と初めて交わした会話であった。戦争でその後は全くの音信なし。

昭和24年、豊島園で有志だけの同志会らしい催しがあった。この関東に於ける初の会を仕切ったのが矢島五郎先輩だった。

その後昭和34年頃、九段会館で関東支部の大会の折りに、「オイ、お前、声はでかいし、同じ競技部の先輩後輩だ、オレの片腕になって同窓会を盛りあげようじゃないか」「ハイ!」

以来40年近く、矢島先輩にお世話になりつばなしだったが、ある時、「オイ、オレの甥っ子の嫁をさがせ!」というご命令があった。早速さがし、先輩に紹介したところ、大変お喜びになられた。甥の嘉市君の夫人トシ子さんがその人である。

俺の女房は教え子だ

矢島先輩は家庭的には恵まれたとは言い得ない。お子さんと奥さんを相ついで亡くされ、以来独身を通された。ある時「先輩、奥さんを貰う気はごわせんか?」

「馬鹿野郎!そんな気は全くないよ。オレの女房は教え子だよ」その教え子たちの集いを「矢風の集い」といって、毎年、旧農林年金会館で催されていた。お前も

出席しろ、ということでも毎回出席させて貰っていたが、遠くから来た教え子の手を握って、「よく来てくれた、よく来たなあ」と涙を流していた姿を拜見して、わたしも思わずもらい泣きました。

矢島五郎先輩とは、

無欲で同窓会をこよなく愛し育て、慈愛をもって教え子たちのため尽くされた、近生まれにみる快男児

晩年、教え子たちと「高校三年生」をスクラム組んで歌っておられた姿を偲びつつご冥福を祈る。

故矢島五郎先輩 の御霊に捧ぐ

40期 小林 郷司
(第九代会長)

満開の 紅葉道づれ

君逝きぬ

去る十月二十日、かねてから危惧して居りました矢島先輩が、遠い黄泉へ旅立たれた由を承り、来るべきものが来たとは思いましたものの、一瞬もなく滂沱たる涙を禁じ得ませんでした。

昭和32年九段の都市センターホールにてお目にかかって以来、40年以上にわたって心から尊敬し、

公私ともに細かいご指導を賜った先輩を失ったことは痛恨極まりなく、ポツカリと心の底に大きな穴があいた思いです。

「小林、何をやってるんだ。それでも貴様会計幹事か。」と大きな声で雷を落とされる反面、「小林、自分の仕事が一番大切だ。自分の事務所には一日に一回は顔を出せよ。」と可愛い弟を諭す兄の如く氣遣って下さるその温情に幾度心の中で涙に咽んだことか。

之も先輩後輩という同窓会の縁によるものと改めて同窓の存在価値を、深く認識したものです。

関東支部（後に関東同窓会と改称）の縦の会合は勿論のこと、同窓会を奨励し、又横の糸として在校時の地域会であった軽井沢の平坦会、丸子の啓明会等の在京の会合を通じて同窓の輪の緊密化に心を砕かれました。加えて在京の勤務先が職業毎に会を作るよう懇請されて松尾鹿友会、松尾税友会等ができ、更に運動部毎のOB会にも積極的に参画されました。これらのことはいやが上にも関東同窓会の連帯感を深め、多勢の先輩、同輩、後輩に知己を得る機会

が頻繁となりまして、上田高校に学んだ倅せを嘯みしめると共に、実感するようになりました。

このような矢島先生の情熱は、自ずから同窓生の胸をうたずにはおりませぬ。同窓会は年毎に参加人員は増加し、今日の隆盛を招く基礎となつたことは自然の成り行きでした。

不肖小林も昭和62年四月神野勝男前会長の後を継いで第九代の関東同窓会会長に会員諸氏のご推薦を受けて就任させて戴きましたが、七月に30年ぶりの甲子園出場となり、募金に、応援の準備、実行に三週間以上費やし、かろうじて関東同窓会としての責任は果たし得たと思えます。之も偏に矢島先輩の永年にわたる縦横の同窓生の繋がりと、生島、横山、柳沢（広）の各副会長並びに山崎（延）幹事長の皆様のおかげであります。一致団結して母校の為に協力賜ったのも矢島先輩によって醸成された母校愛の結晶の賜と心から感謝しております。

若くして奥様とお子さまを

亡くされた後、矢島鑄工棟を創業発展されると共に、上田高校関東同窓会の為に、精神的にも、経済的にも全身全霊を以て傾注されたその精神によって今日の同窓会が生成発展しているわけでありまして、文字通り同窓会の為に一生を捧げられたと申し上げるのも過言ではありませぬ。

今茲に不帰の客となられたことは返すがえすも痛恨の極みであります。たとえ幽明境を異にしても、あのやさしい温容を以て、今日も浮かぶあの白い雲の上から我々後輩にお導き賜りたく存じます。

お名残は尽きませぬが、心から冥福を祈念申し上げます。お別れのご挨拶とさせていただきます。

追悼の辞

44・5期 柳沢 廣
(第五代幹事長)

おりました。折りも折り、何とも悲しいお知らせでしたから応答もままならず、ただ、部屋の中をうろうろと歩き回るばかりの醜態を演ずる私でした。

思い起こせば昭和32年に行われた上田高校同窓会東京支部設立打合せ会の席上で小柄ながら大きなしゃがれ声の意気盛んな方が初対面の矢島先輩でした。爾来、同窓会のこととはもとより、処世のことにもまで薰陶を受けて今日の私があります。心酔する先輩が同窓会の発展向上に尽力されたご功績は枚挙にいとまがなく、今更ここに申し上げるまでもございせんが思い出のよすがとして一、二を述べたいと思います。

母校との連携を大切に考えておられた先輩は故郷上田での会合には毎回出席され、齒に衣着せない建設的意見は多くの共感をよび、その絆を更に強くいたしました。上田への道すがら菅平にあるご自分の山荘へ同行した役員たちを招じての楽しい集いの数々も懐かし胸に刻まれております。

東京支部の活動を周知させるために新卒業生を総会へ無料招待する案を時の小林郷司副会長と諮って第18回総会から実現さ

れ今日まで続いております。このことは同窓会の画期的な行事として称えられるものであります。

また、友好の長野県高等学校同窓会連合会へも率先して参加され要職を担われて大きく貢献されましたが、会を締め括る「信濃の国」の大合唱に身振り手振りよろしく指揮をする上田高校矢島五郎のはつらつたる英姿は、今もなお、語り草として最たるものであります。

東京支部（旧称）発足以来、ご自分の会社を事務局として奉仕に徹せられた真心は、推されて二期六年にわたって支部長を務められたことによっても宜なるかなと申せましょう。このように同窓会への思い入れこそが先輩の人生そのものと申し上げても過言ではありませぬ。御遺志は次代へ継承され、しっかりと実を結びました。矢島五郎先輩、長い間、本当に有り難うございました。静かに同窓会の前途をご照覧下さい。（合掌）

矢島五郎先輩を 偲んで

42期 横山 誠之助
(第十代幹事長)

生者必滅、会者定離といいますが、このたびの矢島先輩の思いがけないご逝去には、いいようなない悲しみを感じます。

「おい。よく来た。受付やれや」と先輩のダミ声がとんできました。何時の頃か、はっきりした記憶はありませんが、上田高校同窓会東京支部大会に顔を出すうちに自然と同窓会のお手伝いをするようになっていったわけです。その後、先輩の幹事長、会長、相談役時代を時代を通じ四十年余も大変世話になりました。

私にとりまして先輩は、年齢的にも一回りも違い、昔風に言えば怖い大先輩でありました。が、時に温かいご助言、時に厳しいご忠告を戴き、現在まで何とか道を誤らずにすんだことは誠にありがたいことと深謝しております。先輩はまた、長野県高等学校東京同窓連等では「趣味は同窓会ではないか」という方がおられ

る程その情熱を同窓会活動に注ぎ込まれたといえます。更に先輩がかつて教師生活を送られた四つの学校の教え子たちの合同の同窓会「矢風の集い」を結成し、実質的に運営もされておられたことも有名な話であります。

もうこんな方は、今後は出現しないのではないのでしょうか。

このように同窓会を愛し、一筋のものに打ち込む心情、そういう根性、行動力などは私どもの心の中に深く刻み込まれております。

私共は先輩のこの精神を継ぎ、新しい時代に相ふさわしい活動を展開し、みんなで力を合わせ、関東同窓会発展のために尽力することと先輩にお誓い申し上げますと同時に謹んでご冥福をお祈りいたします。

矢島五郎先輩 に捧ぐ

48期 山崎 延秋
(第十一代幹事長)

矢島五郎先生のご長逝の報に接し、在りし日のお姿

を偲び謹んでおくやみ申し上げます。

林嘉一君から先生のご様子については伺っておりませんが、シヨックと共に親父を失ったような寂しい気持ちに襲われました。

先生との係わりは、上田高校関東同窓会を通じてご指導を頂いたことに始まります。

当時、先生は上田高等学校同窓会関東支部の初代幹事長として稲垣征夫第三代支部長と共に同窓会の為に熱情を傾注されておりました。

信州弁の混ざるあの独特のダミ声は、日頃は営業用の会話に慣れていた私には全く珍しく聞こえると同時に懐かしく親しみのあるものでした。帰省して故郷の山河を眺め、家族や友人と会い、幼い頃から使い慣れた信州弁で話し合う。これがその頃の生活の潤いの一つでありました。それが東京にいても先生との会話から感じられて大きな喜びでありました。

総会後の二次会の席に先生が参加されました。その時の《矢島節》が皆の胸の奥に突き刺さったのです。短い時間でしたが同期生は如何にあるべきかを率直に簡明に、そし

て力強く説いたのです。その後、在京の48期生は一段と団結が固くなり、同窓会に対する認識も新たに致しました。

先生はその後第四代の島田次郎支部長のもとで幹事長としてがんばり続けられました。さらに、第五代の大森頼雄支部長と第六代坂井実雄支部長との二代に亘って副支部長を務められてから第七代支部長に就任されました。

昭和53年から昭和59年まで六年間二期の支部長時代はまさに先生の縦横無尽の活躍時代と聞いております。この間の先生の抱持ちと自称する柳澤廣幹事長は往時を懐かしんで語っております。

奉仕の精神と情熱は物凄いものであり、時には他を押し辟易するものもあつたが、幹事一同は一致団結して関東支部のために血のにじむようなご努力を重ね基礎固めに尽力されたのだそうです。

又、長野県高等学校同窓会の東信地区連合会においては昭和55年に会長に就任されました。東京連合会の創立二十周年記念誌に今後に望むものとして寄稿されています。

「目的とする県下僚友校の各同窓会の親睦交流の大目標を見失

うことなく立派に実を結ばれたことは役員諸氏の尽力の賜である。

懸案であつた会報「うえた」の創刊号を発行するに当り、松商学園の京浜会報を参考資料にいただき、会員名簿作成にも、僚友校の総会に招待されて、種々参考になる多数の意見を役立たせて頂き深謝している。

同窓会第七代目支部長の連責を果たし、懸命に努力してきたつもりが我が関東同窓会も、昨春第八代関東同窓会会長神野勝男氏に引き継ぎ一線を退いたが、OB役員として列し尚同窓会においても終身役員参与として今後益々同窓会発展につくし得る身の幸せを深く感じ、本格的発展を祈りながら終わる。」

先生の残された上田高校関東同窓会という城は若い後輩諸君がただ踏襲するだけでなく、時代の変化を意識して新しいものを探し、先生の意図するところを守りながら現代の風味を加えて繋いで行くことと頑張っています。

先生どうぞご安心して
安らかに お眠り下さい

矢島先輩を偲んで

上田高等学校

同窓会

理事長 水野晴海

「わんだれ」と言う言葉が、矢島先輩の専用語で、板に付いていて聞くものの心に心地よく響いた。

この人程母校を愛し、上田を愛した人は少ないと思う。

二十年程前、上田高校と染谷丘高校の同窓会を中心に、中信南信の著名進学校の同窓会10位を集めて、長野県同窓会連合会が出来た。トップには柳澤文秋氏を立てたが、すべてのリーダーシップは矢島先輩がとり、その覇気と情熱は脳裏に焼き付いている。

同窓会顧問として推戴していた小林巳根夫氏（前長野支部長）を昨年失い、竹内敬太郎先生と矢島五郎氏を相次いで失った。淋しい限りであ

り、同窓会の移り変わりの節目を痛感させられる。在りし日の意気軒昂たる矢島先輩のお姿を偲び、御魂よ安らかに眠り給えと心からお祈り申し上げる。

上田高等学校

同窓会

顧問 金子八郎

何としてもお見舞いに参上し、長年のご活躍に對し衷心よりお礼を申し上げ、深く敬意を表しました。いと願っております。が、遂に叶わず、本当に残念であり、誠に申し訳なく恐縮しております。

昭和32年の母校野球部の初の甲子園出場を契機として、戦後の混乱で大きな動きのなかった関東同窓会の活動がにわかに活発化し、これは偏に役員の方の賜です。こうしたなか、幹事長として、会長として長年わたり稀にみる強烈な情熱と行動力の

もと、文字通り精魂を傾け、縦横に活動された矢島先輩の存在は極めて大きく、その偉大なご功績は未永く人々の心に残ることを信じております。

私も屢々ご一緒しましたが、常に若々しく、信念をもって熱っぽく語られる数々のお話を吸い込まれるように拝聴し、勇気づけられ、さわやかな気持ちで再会を楽しみにお別れしてきました。

母校でも独特の矢島弁で、後輩に向け母校愛、郷土愛を語りかけ、忘れ難い強い印象と深い感銘を与えられました。今も当時を知る多くの人は懐かしく先輩を偲んでいます。

今や親しくご指導を受けることは出来ませんが、今でも情熱のこもった矢島弁で「お前しっかりやれよ」というお声が背後から聞こえて来るように思え、同窓会の一層の充実発展を祈らずにはおられません。改めて偉大なご貢献に感謝申し上げます。ご冥福をお祈り申し上げます。

関東同窓会年譜

(氏名の下は卒業期)

昭和28年春

豊島園に於いて上田松尾高等学校同窓会東京支部設立総会が開催された。出席者一〇〇名

●昭和33・4：昭和36・2 初代支部長 宮入清四郎10

●昭和36・2：昭和44・1 支部名簿発行

●昭和44・1：昭和46・3 二代支部長 清水 菊三7

●昭和46・3：昭和48・5 副支部長 沓掛 真13

●昭和48・5：昭和50・7 副支部長 稲垣 征夫14

●昭和50・7：昭和52・9 第3回大会(37年産経ビル)

●昭和52・9：昭和54・11 第4回大会(38年産経ビル)

●昭和54・11：昭和56・1 第5回大会(40年リッカー)

●昭和56・1：昭和58・3 ミニコン会館(以後毎年開催)

●昭和58・3：昭和60・5 2次会員名簿発行

●昭和60・5：昭和62・7 三代支部長 稲垣 征夫14

●昭和62・7：昭和64・9 副支部長 島田 次郎21

●昭和64・9：昭和66・11 副支部長 大森 頼雄23

●昭和66・11：昭和68・1 副支部長 坂井 実雄28

●昭和68・1：昭和70・3 幹事長 矢島 五郎31

●昭和70・3：昭和72・5 副支部長 尾台 三吉30

●昭和72・5：昭和74・7 幹事長 矢島 五郎31

●昭和74・7：昭和76・9 副支部長 尾台 三吉30

●昭和76・9：昭和78・11 副支部長 坂井 実雄28

●昭和78・11：昭和80・1 副支部長 尾台 三吉30

●昭和80・1：昭和82・3 六代支部長 坂井 実雄28

副支部長 花岡 信男36
幹事長 神野 勝男36
関東支部の歌募集・制定
3次会員名簿発行

●昭和53・4：昭和59・3 七代支部長 矢島 五郎31

●昭和59・3：昭和62・3 副支部長 花岡 信男36

●昭和62・3：昭和64・5 副支部長 神野 勝男36

●昭和64・5：昭和66・7 副支部長 小林 郷司40

●昭和66・7：昭和68・9 幹事長 柳澤 廣44

●昭和68・9：昭和70・11 副支部長 柳澤 廣44

●昭和70・11：昭和72・1 八代会長 神野 勝男36

●昭和72・1：昭和74・3 副会長 柳田 誠37

●昭和74・3：昭和76・5 副会長 浅野 恭平37

●昭和76・5：昭和78・7 副会長 小林 郷司40

●昭和78・7：昭和80・9 幹事長 清水 幾男38

●昭和80・9：昭和82・11 副会長 柳澤 廣44

●昭和82・11：昭和84・1 副会長 堀内 茂雄44

●昭和84・1：昭和86・3 副会長 柳澤 廣44

●昭和86・3：昭和88・5 副会長 堀内 茂雄44

●昭和88・5：昭和90・7 副会長 柳澤 廣44

●昭和90・7：昭和92・9 副会長 堀内 茂雄44

●昭和92・9：昭和94・11 副会長 柳澤 廣44

●昭和94・11：昭和96・1 副会長 堀内 茂雄44

●昭和96・1：昭和98・3 副会長 柳澤 廣44

●昭和98・3：昭和00・5 副会長 堀内 茂雄44

●昭和00・5：昭和02・7 副会長 柳澤 廣44

●昭和02・7：昭和04・9 副会長 堀内 茂雄44

矢島五郎相談役を悼む

人と技術で 世界に伸びる……

- 精密モータ
- CD-ROM・CD-Rドライブ
- 小型オフセット印刷機
- 絹紡糸

シナケンシ 株式会社

本社 長野県丸子町上丸子1078 TEL.0268(41)1800
事業拠点 国内(1,350名) 丸子・真田・上田・佐久・東京・大阪・名古屋
海外(3,000名) 米国・中国・タイ・ベルギー

公認会計士

小林郷司事務所

公認会計士
税理士

小林郷司

〒101-0045
東京都千代田区神田鍛冶町
三丁目三番地
共同ビル新千代田五階
TEL(三三)五二八八〇一・三番